

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・音楽 I	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1 年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わることができる。
使用教科書 副教材等	音楽 I Tutti+ (教育出版) 音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	幅広く音楽を形成する要素を理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能と知識を活用することができる。	音楽を形成している要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、創意工夫した歌唱、器楽、創作の音楽表現することができる。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	「音楽 I」を学習するにあたって 歌唱(日本歌曲、外国語歌曲) 器楽①(キーボード) ソルフェージュ(読譜、リズム打ち) 楽典(譜表と音名、音符と拍子、音階と調) 西洋音楽史①②(ルネッサンス～古典派) 鑑賞(室内楽、歌曲など) 創作(旋律作り)	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	器楽②(箏) 日本の伝統音楽 楽典(音程、三和音とコードネーム) オーケストラの楽器と編成 音楽の形式 西洋音楽史③④(ロマン派～近・現代) 鑑賞(交響曲、オペラ、歌舞伎など) 世界の音楽、ポピュラー音楽	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	「音楽Ⅰ」を学習するにあたって…年間学習予定、学習のねらい イメージをもって歌おう……………「君に届くまで」「優しいあの子」	1 3
	5	楽典①② ……………「譜表と音名」「音符と拍子」	2
		日本歌曲を歌おう……………「夏の思い出」「この道」	4
		ソルフェージュ……………読譜とリズム打ち	2
	6	楽典③……………「調号と臨時記号」	1
		<楽典小テスト>	1
		西洋音楽史①……………中世・ルネッサンス～バロック時代の音楽	2
		歌の旅に出よう……………Ⅰ－イタリアの民謡と歌曲－ Ⅱ－英語のライムを感じて－	3
	7	歌の旅に出よう……………Ⅲ－ドイツ語の歌曲－ <実技テスト「歌唱」>	2 1
器楽①……………キーボード「運指の基礎」「譜読み」「アンサンブル」		5	
8	西洋音楽史②……………古典派の音楽	2	
9	楽典④……………「音階と調」	2	
	創作……………様々な音階を使って短いメロディを作ろう	2	
	前期の学習のまとめ	2	
後期	10	楽典⑤……………「音程」	2
		器楽②……………箏の基礎／「六段の調」	6
	11	<実技テスト・箏>	1
		日本の伝統音楽……………「郷土の芸能」「雅楽」	2
		楽典⑥……………「三和音とコード」	2
		<楽典小テスト> オーケストラの魅力を探ろう……………オーケストラの楽器と編成／バレエ音楽「ボレロ」	1 2
	12	音楽の様々な形式……………二部形式～ソナタ形式	2
		ベートーヴェンと交響曲……………交響曲第9番「合唱つき」	2
		西洋音楽史③……………ロマン派の音楽	2
	1	総合舞台芸術①……………オペラ	2
		総合舞台芸術②……………歌舞伎	2
総合舞台芸術③……………ミュージカル		2	
2	西洋音楽史④……………近・現代の音楽	2	
	世界の音楽……………諸民族の音楽／ポピュラー音楽	3	
3	後期の学習のまとめ	2	

5 その他

音楽の幅広い活動を通じて、音楽の文化的・歴史的背景や音楽の特徴を理解することで、より深く音楽の良さや美しさを味わうことができます。定期考査はありませんが、授業の中で行う実技テストや小テスト、提出課題などを重要視していますので、ぜひ意欲的に授業に参加してください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・音楽Ⅱ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わることができる。
使用教科書 副教材等	音楽Ⅱ Tutti+ (教育出版) 音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を活用し、歌唱、器楽、創作で表すことができる。	音楽を形作っている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、意図をもった表現をしたり、多角的に作品の良さや美しさを理解して、味わって聴いたり評価したりすることができる。	幅広く音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的・協同的に取り組もうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	「音楽Ⅱ」を学習するにあたって 歌唱(日本歌曲、外国語歌曲) 器楽①(キーボード) <実技テスト> 楽典(四和音とコード進行) <小テスト> 世界の音楽と踊り 鑑賞(日本や世界の音風景) 前期の学習のまとめ	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	器楽②(ギター) <実技テスト> 鑑賞(組曲・交響詩など) 物語と音楽 季節を楽しむ音楽 20世紀以降の音楽 創作(映像に合わせた BGM・効果音制作) 後期の学習のまとめ	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	「音楽Ⅱ」を学習するにあたって……年間学習予定、学習の「ねらい」 言葉(歌詞)を丁寧に歌おう……「風の子供」「からたちの花」	1 3
	5	語感を大切に歌おう……「Auf Flügeln des Gesanges (歌の翼に)」 英語でポップスを歌おう……「Yesterday Once More」 楽典……復習/減三・増三和音、四和音とコード 鑑賞……「アヴェ・マリア」を残した作曲家たち	2 2 3 1
	6	<楽典小テスト> 器楽①……キーボード「音階」「譜読み」「アンサンブル」 <実技テスト(歌唱または器楽)>	1 4 2
	7	鑑賞……演奏家と楽器が生み出す世界～名曲・名演奏聴き比べ 世界の音楽と踊り①……「サンバ」に挑戦	2 6
	8	世界の音楽と踊り②……「フラメンコ」(スペイン)	2
	9	日本の音風景……箏曲、雅楽、三線、津軽三味線、神楽	4
		前期の学習のまとめ	2
	10	器楽②……ギターの基本/音階/「カントリー・ロード」	8
	11	<実技テスト・ギター> 鑑賞……「アランフェス協奏曲」「アルハンブラの思い出」 「標題音楽」の魅力……交響詩/組曲 20世紀以降の音楽……劇音楽、映画音楽、ポップス	2 1 2 3
後期	12	季節を楽しむ音楽……クリスマス・ソングを歌おう・演奏しよう バレエ「くるみ割り人形」	4 2
	1	映像に合わせた BGM・効果音……準備 素材集め、作曲	2 4
	2	制作(継続)	3
		<映像作品発表・批評>	2
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

「音楽Ⅰ」を修得した生徒が選択することができます。「音楽Ⅰ」で身に付けた学習内容をベースに、さらに幅広く様々なジャンルの音楽を扱い、理解と関心を深めていきます。基礎的な音楽理論を実践に生かして演奏を楽しんだり、創作的な内容や発表をしたりするので、毎時間の積み重ねが重要になってきます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・美術 I	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1 年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動の豊かな美的体験によって、生涯にわたり美術を愛好する心情をもち、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化について理解することができる。
使用教科書 副教材等	高校生の美術1(日本文教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	美術やデザインの歴史の学習を通じて、創造と表現の知識の幅を広げ、主題を効果的に表現し、自らのアイデアを具現化するための表現技術を高め、形体、色彩、構成などを工夫し、材料や用具を活用し、表現することができる。	学習した知識や技法を活用し、感性や想像力を働かせて、対象のよさや美しさをとらえ、表現形式や方法、材料や用具の用途や特徴を理解し、課題やテーマに合わせて効果的に生かし、自己の表現意図に合った方法で創意工夫し、表現することができる。	主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、生活や社会を心豊かにする美術の働き、美術文化などについての理解を深めようとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	オリエンテーション 絵画 ・鑑賞 絵画の魅力を感じよう ・表現 身の回りの物を描こう ・表現 鉛筆で自画像を描こう デザイン ・鑑賞 デザインの広がりを考えよう ・表現 豊かな色彩感覚を身に付けよう ・表現 アクリルガッシュで平面構成を描こう ・表現 テーマに沿ってポスターをつくろう ・鑑賞 デザインの広がりを考える 前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	絵画 ・鑑賞 日本の美術の魅力を味わおう ・表現 絵の具で身近な風景を描こう ・表現 水彩絵の具で植物を描こう 映像メディア ・表現 動きの効果を生かして物語を表現しよう 彫刻 ・鑑賞 彫刻について理解を深めよう ・表現 素材を使って抽象彫刻を作ろう 後期の学習のまとめ「これからの私と美術」	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	鑑賞「美術とは何か」……………オリエンテーション 美術の授業と学習内容の確認。	1
		鑑賞／絵画「視点と表し方」……………人類の歴史と共にある美術について、その美術の果たしてきた役割と意義について学習。	1
	5	表現／絵画「身近なものを描く」……………自らの手をよく観察し、普段気づかない点や構造的な点にも注意し、デッサンに取り組む。	4
	6	表現／絵画「人物を描く(鉛筆画)」……………クロッキーとして、短時間で人物のフォルムをとらえる練習を行う。	9
		鑑賞／デザイン「デザインの世界」……………社会や日常生活の中で、デザインが果たす役割とその仕事の多様さを学習。	4
	7	表現／色彩「色の仕組みや見え方を学ぶ」……………視覚効果や日常生活の中で情報の伝達や説明に大きな役割を果たす色について学習し、校歌の歌詞をデザインし、合作としてそれぞれの個性が合わさった校歌の歌詞のデザイン画を制作する。	4
		表現／デザイン「色彩、文字、美の秩序などについて学ぶ」……………デザイン学習での知識を生かし、平和をテーマにしたデザイン作品の制作を行う。	4
	8	表現／デザイン「ポスターで伝える」……………ポスターに必要な、見るものに情報を伝える大切な要素を学び、学校行事のポスター制作を行う。	4
	9	鑑賞／デザイン「デザインの世界」……………実際のデザインや、アートに携わるプロの人達の制作の様子を鑑賞し、自らが物事に取り組む姿勢を学習する。	2
		前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」……………友達の作品の鑑賞と、学習の振り返りをレポートにまとめる。	2
後期	10	鑑賞／絵画「日本美術」……………古くから、海外の影響を受けながらも、独自の発展を遂げてきた日本の美術の歴史について学習する。	2
	11	表現／絵画「風景を描く」……………遠近法など風景表現の技法を学習し、校内の風景をテーマに、アクリル絵の具を用いて制作する。	8
		表現／絵画「植物を描く(水彩画)」……………水彩の淡い色彩表現を生かして、植物画の制作を行う。	4
	12	表現／映像メディア表現「アニメーションの手法」……………動く絵、アニメーションについて学習し、パラパラ漫画の制作に取り組む。	8
	1	鑑賞／彫刻「環境を彩る造形」……………モニュメントとしての彫刻作品について学習する。	2
	2	表現／彫刻「抽象彫刻で表す(紙立体)」……………規定に定まらない自由な発想の作品を目指し、紙の素材と材料を用いた立体作品に取り組む。	9
	3	後期の学習のまとめ「これからの私と美術」……………1年間を振り返り、取り組んだ制作や学習した知識について確認し、今後も日常で楽しめる美術の在り方について考える。	2

5 その他

美術Ⅰは、表現や鑑賞の授業を通じて、新たな視点や感性で日常を見つめたり、何かをつくる喜びを感じたり、形や色の美しさを発見したりする科目です。美術で学んだ知識や経験は、将来の仕事や日常生活などのさまざまな場面で生かすことができます。素直な気持ちになって感じ取ったことや考えたことを豊かに表現しましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・美術Ⅱ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2 年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動の豊かな美的体験によって、生涯にわたり美術を愛好する心情を育て、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化について深く理解することができる。
使用教科書 副教材等	高校生の美術2(日本文教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	美術、デザイン表現の知識、表現技術を生かし、主題を効果的に表現し、形体、色彩、構成などを工夫し、材料や用具を活用し、創造的に表現することができる。	感性や想像力を働かせて、自らの作品のイメージを明確にし、材料や用具などについての体験的理解を基に、自己の表現意図に合った創作を行い、対象のよさや美しさをとらえ、対象の良さの表現に意欲的に取り組み、制作することができる。	先人の積み上げてきた美術の表現技術や活動を学習し、それらの活動の成果が今日の社会に与えた影響に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、生活や社会を心豊かにする美術の働き、美術文化などについての理解を深めようとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	オリエンテーション 絵画 ・鑑賞 「表現とは何か」オリエンテーション 「絵画の役割と写真の発明」 美術史 「美術表現の起源から西洋の美術まで」 ・表現/絵画「質感をとらえて描く」 「鉛筆によるトリックアートの世界」 彫刻「身近な材料で表す」 デザイン ・鑑賞「使う人のためのデザイン」 前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	デザイン ・表現 「暮らしの中で使うものをデザインしよう」 「紙の特性を生かして伝える」 絵画 ・表現 「感覚の冒険」心で捉えたイメージを形と色で表そう 表現/デザイン ・映像メディア表現 「キャラクターのデザイン」 後期の学習のまとめ 「これからの私と美術」 「美術を見せる、美術で伝える、美術がつなぐ」 美術の働きについて考えよう	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	鑑賞「表現とは何か」……オリエンテーション 美術 I を振り返り、鑑賞・名画の模写練習	1
		鑑賞／絵画「絵画の役割と写真の発明」……写真機の発明による絵画の役割の変化を知る。 鑑賞レポート	1
		表現／絵画「質感をとらえて描く」細密デッサン	8
	5	表現／絵画「鉛筆によるトリックアートの世界」……だまし絵、3D アートの表現を学習し、 制作に取り組む。	7
	6	鑑賞／美術史「美術表現の起源から西洋の美術まで」……鑑賞レポート	2
	7	表現／彫刻「身近な材料で表す」……木材粘土を用いた彫刻鉛筆作品	14
	8		
	9	前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」……鑑賞 レポート	2
後期	10	表現／デザイン「紙の特性を生かして伝える」……パッケージデザイン制作	22
	11		
	12		
	1	表現／デザイン・映像メディア表現「キャラクターのデザイン」……商品キャラクターの制作。 パソコンなど情報機器を用いた表現も学習。	6
	2	表現／絵画「感覚の冒険」……コラージュについて学習。作品制作。	5
	3	後期の学習のまとめ「美術を見せる、美術で伝える、美術がつなく」……鑑賞、振り返り レポート	2

5 その他

美術Ⅱは、美術Ⅰと同様に、表現や鑑賞の授業を通じて、新たな視点や感性で日常を見つめたり、何かをつくる喜びを感じたり、形や色の美しさを発見したりする科目です。美術で学んだ知識や経験は、将来の仕事や日常生活などのさまざまな場面で生かすことができます。素直な気持ちになって感じ取ったことや考えたことを豊かに表現しましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・書道 I	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1 年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わることができる。
使用教科書 副教材等	書 I (光村図書) 硬筆レッスン帳(教育図書)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解し、書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を活用することができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりすることができる。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	書道への導入 漢字の書	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	仮名の書 漢字仮名交じりの書 篆刻	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	書道で学習すること	2
		書写から書道へ	2
	5	[1漢字の書] 1はじめに 漢字の変遷とさまざまな書体	6
		2文字の造形を学ぶ	14
	6	〈楷書〉 あなたは、どの楷書が好き？ 唐の四大家に学ぶ楷書の基本 孔子廟堂碑、九成宮醴泉銘、雁塔聖教序、顔氏家廟碑	
	7	〈行書〉 蘭亭序、争坐位文稿、蜀素帖、風信帖 〈草書〉 真草千字文 〈隸書〉 曹全碑 〈篆書〉 泰山刻石	
		3創作する	9
	8	古典を生かした創作	
	9	前期の学習のまとめ	2
後期	10	[2仮名の書] 1はじめに 仮名の成立と種類	6
		2文字の造形を学ぶ	7
	11	仮名の筆使い 平仮名、変体仮名 蓬莱切	
		3構成を学ぶ	5
	12	継色紙	
		4創作する	5
	1	古筆を生かした創作	
		[3漢字仮名交じりの書] 1はじめに 漢字仮名交じりの書とは	2
		2創作する 好きな言葉を書こう	3
2	篆刻	5	
3	後期の学習のまとめ	2	

5 その他

楷書や行書、仮名などの基礎的な技術の習得から、各自の制作意図に基づいて多様な表現の作品創作を行います。
毎時間のように実技を行いますので、楽しみながら意欲的に取り組みましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・書道Ⅱ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わることができる。
使用教科書 副教材等	書Ⅱ(光村図書)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を活用することができる。	書によさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい深くとらえたりすることができる。	主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	漢字の書	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100点	100点	100点
後期	仮名の書 漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	[1漢字の書] 1はじめに 個性豊かな漢字の姿	4
	5	2篆書 泰山刻石	5
	6	3隸書 乙瑛碑 4草書 十七帖	5 5
	7	5行書 集王聖教序	5
	8	6楷書 孟法師碑	5
	9	7創作する 座右の銘を書こう	4
		前期の学習のまとめ	2
	後期	10	[2仮名の書] 1古筆に学ぶ 高野切第一種 平仮名・変体仮名
11		2創作する 百人一首を書こう	4
		[3漢字仮名交じりの書] 1古典・名筆に学ぶ 風景を書で表現する 古典の書風を生かそう	6
12		2創作する イメージを書で表現する	6
1		ポスターを作ろう	4
		[4篆刻・刻字] 1はじめに 多彩な印の表現 さまざまな書体で見る姓名印	4
2		2創作する 〈篆刻〉姓名印を刻してみよう 〈刻字〉表札を彫ってみよう	5
3		後期の学習のまとめ	2

5 その他

楷書や行書、仮名などの技術の習得から、各自の制作意図に基づいて多様な表現の作品創作を行います。
毎時間のように実技を行いますので、楽しみながら意欲的に取り組みましょう。